

## 5. 嘉芸小学校の校区

### (1) 学校区域略図



### (2) 地域の概要

本校は、沖縄本島中央部、金武町の南端、うるま市（石川）に接し、伊計、宮城、平安座の太平洋に浮かぶ島々をはるかに望み、背には、その名も高き恩納岳、屋嘉岳が連なり、潮の香りと山のにおいがよく調和した、風光明媚な農村地域の台地にあり、教育環境に恵まれた学校である。

### (3) 校区の概要

嘉芸小学校は、伊芸、屋嘉の2地域から成り平成29年2月末現在で、人口が3,002人（伊芸1084人、屋嘉1918人）である。北部では年々人口減少のために過疎化が進んでいるが、本校区においては、町営住宅や分譲住宅の建設に伴い、しだいに人口が増加している。

戦前戦後を通して稲作を中心とした純農村であったが、現在は、土地改良事業が進み、従来の稲作、キビ作はもとより花卉、マンゴ栽培農家が多くなった。とはいえ、最近の経済成長の波にのって兼業農家が増え、父母の職業も会社員、軍雇用員、大工、農業、自営業、運転手、土建業、団体職員、教員、公務員、漁業と多岐にわたっている。いろいろな職業に携わる父母は、農業に関しては折々に営むという程度である。

学校は、伊芸区から約2.2km、屋嘉の14班から約2.4kmにあつて、屋嘉区に位置している。伊芸区と屋嘉12班、13班、14班の児童はバス通学、その他の児童は徒歩通学で、全児童の集団登校を奨励している。

学校のすぐ前は国道329号と近くには高速道路があつて交通の便利なところではあるが、国道329号の交通量が多く、登下校時の交通安全指導が必要である。また、近くにはキャンプハンセンの演習場があり、演習の影響も受けやすいところである。

### (4) 本校の概要

本校の創立は明治23年で、今年度で125年を迎える輝かしい歴史と伝統を持っている学校である。創立当時の校舎は太平洋戦争で廃墟に化し、校地は軍用地として接収されたため、戦後は校地の移転が数回有り、昭和34年に現地に移転し現在に至っている。

これまで「交通安全の徹底した学校、学校食堂や熱帯果樹園等、教育環境が整備された学校」として、九州地区交通安全協会賞、県知事賞、警察本部長賞、沖縄タイムス賞、沖縄県緑化推進協会賞、全日本交通安全協会賞、全国学校給食優良校として文部大臣からの表彰、子どもの読書活動優秀実践校（県教育長表彰）、子どもの読書活動優秀実践校（文部大臣表彰）、交通安全優良校（九州管区交通安全協会表彰）等を受賞している。